

# 泌尿器科学

## 担当指導医師

### ●本院

教授：藤岡 知昭

准教授：丹治 進

講師：杉村 淳、小原 航、阿部 貴弥、大森 聡、岩崎 一洋、高田 亮

助教：小松 淳、那須 崇志、加藤 陽一郎、常盤 傑

非常勤講師：清野 耕治、鈴木 薫、後藤 康文、石井 延久、奥山 明彦、三木 恒治、  
近田 龍一郎

## 基本方針：

1. 担当指導医のもと準担当医として実際の診療に携わる。すなわち、クリニカルクラークシップ形態により実習を行う。
2. 実習は5学年時の実習をふまえ、より臨床に即した実践的な内容となる。具体的には、学力、能力により、患者さんに対する問診、診察、検査、手術等を分担する。
3. 実習に際しては、診療チームの一員となることを即座に認識し、医師や comedical staff との協調をはかりながら、積極的に診療に参加する。また、当科臨床実習に参加している5年生にも、経験を元にした助言と指導を行う。
4. 患者さんやその家族に接する際には、相互の信頼関係を確立するよう努める。なお、医の倫理を十分にわきまえ、自己判断での行動は慎むよう注意する。
5. 日常診療の変遷や研究面での最新の話題をも広く吸収し、泌尿器科学の現状や特色を自分なりに的確に把握する。
6. 特定の分野について重点的に実習することを希望する場合は、予めその旨を進言する。
7. 将来医師になる身として、現在自分に足りない面や自分の適正等を実習を通して自問自答することも重要である。

## 実習内容：

### 1. 病棟実習

実習期間を通し、各入院担当チームのいずれかに配属し、可能な範囲でチームと診療行動を共にする。回診、処置、検査、手術など主治医が行う医療行為に実際に携わり、侵襲性の低い医療行為（創部消毒、ガーゼ交換、導尿、抜糸、手術助手、静脈採血、尿流量検査、膀胱洗浄等）を主治医の指導監視の元で行う。さらに尿路性器腫瘍、尿路結石、尿路性器奇形、副腎疾患、腎不全、尿路感染症等の主要疾患から、受け持ち患者の内の一人名についてレポートを作成し、第4週目のいずれかの日にグループ内で発表し討論に参加する。また、抄読会（週1回）、症例検討会（週1回）、画像診断カンファランス（週1回）、教授回診（週1回）にも参加する。

### 2. 外来実習

担当指導医の外来診療日に、新患外来予診の他、外来での処置、検査（尿沈渣作成、検鏡、精液検査、超音波検査、X線検査、ストーマケア）、外来手術（体外衝撃波結

石破碎術を含む)の助手を受け持つ。

### 3. 透析室実習

急性、慢性腎不全の病態と透析療法の原理を理解し、血液透析の実際を経験する。指導医のもとで、急性例ではカテーテル挿入の介助、慢性例では内シャントへの穿刺を行う。

### 4. その他

関連各科との合同カンファレンスや、学内外の研究会、学会にも機会があれば参加する。また当科における実験や研究についても希望により参加する。

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
診断用機械	尿路性器模型	2	診察に際する解剖構造を把握する。
診断用機械	前立腺直腸診模型	4	診察の所見採取に役立つ。
視聴覚用機械	シャウカステン	2	各種 X 線写真を提示する。
診断用機械	プロジェクター・OHP	2	検査データ・教材を提示する。
診断用機械	パソコン・デジタルカメラ	2	検査データ・教材を提示する。
診断用機械	光学顕微鏡	1	病理組織所見を検証する。
診断用機械	ペンライト	—	陰嚢透光検査に用いる。
診断用機械	聴診器	—	腹部・シャント等血管雑音を聴取する。
診断用機械	検尿・遠心分離装置	1	尿一般検査・沈渣材料の作成法を学ぶ。
診断用機械	超音波診断装置	3	泌尿器超音波診断・検査法の実際を学ぶ。
診断用機械	X 線診断装置	2	尿路 X 線検査の実際を学ぶ。
診断用機械	尿路内視鏡	8	尿路内視鏡検査の実際を学ぶ。
診断用機械	手術用内視鏡	3	尿路内視鏡手術の実際を学ぶ。
診断用機械	内視鏡用モニター	3	内視鏡検査・手術の見学に活用する。
診断用機械	尿流動態測定装置	2	尿流動態学の実際を学ぶ。
診断用機械	陰茎硬度測定装置	1	勃起不全の分類を把握する。
診断用機械	生検用自動穿刺装置	2	安全な生検検査法を学ぶ。
診断用機械	腹腔鏡	1	泌尿器腹腔鏡手術の実際を学ぶ。
診断用機械	体外衝撃波結石破碎装置	1	尿路結石症治療の実際を学ぶ。
診断用機械	超音波結石破碎装置	1	尿路結石症治療の実際を学ぶ。
診断用機械	血液浄化透析装置	8	血液浄化透析法の実際を学ぶ。
診断用機械	腹膜透析装置	2	腹膜透析法の実際を学ぶ。
診断用機械	臓器移植用機器	1	臓器提供・移植の実際を学ぶ。
診断用機械	密封小線源刺入装置	1	小線源治療の実際を学ぶ
視聴覚用機械	パソコン (FMV-BILBO MG90YN)	—	講義資料・試験問題の作成
視聴覚用機械	A3 フラットヘッドネットワークスキャナ (ES-10000G)	1	講義資料・試験問題の作成
視聴覚用機械	膀胱用超音波画像診断装置 ブラダースキャンシステム (BVI6100)	—	臨床実習における症例検討

使用区分	使用機器・ 器具等の名称	個数	使用目的
視聴覚用機械	カラーデジタル複合機 (iRC3580F)	—	講義資料・試験問題の作成
実習用機器	パソコン (MacBookAir13 イン チ)	1	臨床実習における症例検討